

・「集団欲は重要なきびしい本能的欲求である」というテーマでのお話では、集団欲は人と係わり合うことでしか得られない、充実できないという先生のお話は、とても印象的でした。ホームに通う親御さんも子育てで不安を抱えている方もいると思うので、集団の中で話し合い、自信を持って子育てできるようお手伝いできたらと思います。先輩が若い人に教えていくというお話をうけ、私自身も積極的に聞いて学んでいきたいと思いました。ありがとうございました。

・毎回、エネルギッシュなお話をありがとうございました。そして、毎回現状を見つめ直すきっかけになっています。日々向き合っている子ども達やお母さん方、そして、職員間の係わりには、相手の目に見えない心を理解する努力が必要であること、そのためにも、どんな小さな表情や動作からも相手の気持ちを察せる力を養いたいと思いました。まずは自分自身に心のゆとりが必要ですね。

・「人の心は見えないけれども、行動をみることや係わり合うことで、理解していくことが大切」「子どもやお母さんの気持ちを受け止め、生きる勇気を与えることが大切」という先生の言葉が印象に残っています。日々の保育の中で、子ども達やお母さん方の気持ちを受け止め、支援につなげていきたいと思いました。また、コミュニケーションをとる中で、相手とのすれ違いがあったとしても、そのままにせず、自分の気持ちを伝えなければ、相手には伝わらないので、積極的に係わり合いをもち、お互いの理解を深めていきたいと感じました。

・阿部先生の話をも初めて伺い、脳の様々な働きにも改めて認識することができました。

特に驚き、印象に残ったことは、自閉症の中学生のビデオと書籍だった。自分の想いを言葉に発することが十分にできないが、文章にすると、何を想い、日々生活し、自分が置かれている状況をその子なりに感じ取っているのかが解ることができ、また、障害を持った子にも意味を持った感情が働いていることにも改めて気付かされました。

今日学んだことを少しでもホームに通園している親子とのコミュニケーションを通じて活かしていきたいと感じました。

・東田直樹くんのビデオを見て、日常的なことばをあやつれないのに、文章の中では抽象的な思考や表現ができることに驚きました。阿部先生のおっしゃる通り、脳のメカニズムの不思議さ、複雑さを感じる思いでした。また、逆に言葉を持たない自閉症のお子さんにはどう対応していくのか…行動を見ることはもちろんだが、目に見えない所を想像していくなど、考えさせられる機会になりました。お母さんとお子さんに対する謙虚な気持ちを忘れずに、保育をしていきたいと思えます。

・以前、東田さん本を読み、係わっている子ども達の姿と重ね合わせ、その時に抱いていた子ども達の行動に対する疑問が解消したようにスッキリしたのを覚えています。麻痺などにより伝える手段が制限されたり、また、言葉としての訴えがなくても、いろんな思いを抱き感じているということに気付かされ、小さな変化や行動の意味を少しでも理解出来るよう努めていきたいと思いました。

・自閉症の少年の DVD を見せていただき、あまりの文章能力に衝撃を受けました。知能能力、言語能力、運動能力など様々な遅れが問題とされている中、言語というコミュニケーションがとれない少年が文章という方法でコミュニケーションをとる姿にただ驚くばかりでした。今現在、お母さんだけでなく、子ども自身もいろいろな困難にぶつかっているという事、その為に、一人ひとりの行動や表情の変化を見逃さず、少しでも理解していけたらと思いました。

・阿部先生の研修では、子どもとの関わりの基本を話して頂き、日々の自分への保育を見つめなおすことができました。研修では、自閉症の子どものビデオなどの紹介もあり、とても興味深く話を聞かせていただきました。研修の話を、日々の保育でも活かしていけるよう日々励みたいと思います。

感想

大野田たんぽぽホーム

- ・ 運動面の遅れ、知的な遅れには脳のどの部分に関係しているのかを分かりやすくお話していただき、勉強になりました。ビデオや先生のお話を通して、お子さんはそれぞれ思い通りにできなかつたり、挫折やつらい思いをしているのを感じました。少しでも楽しい活動を経験してお子さんの自信となるように保育を工夫していければと思いました。また障がいのあるお子さんを支えていくことはお母さんのサポートをしていくことでもあるというお話をお聞きし、自分の療育を見直さなければなと振り返ることができました。今日は本当にありがとうございました。
- ・ お忙しい中、貴重なお話を聞かせていただきまして、本当にありがとうございました。阿部先生のお話の中で、大学は問う力を養う場所という言葉聞いて、受身の大学生活を過ごしてしまっていたと気づきました。就職してからも、なかなか自ら意見を発信することに苦手さを感じています。しかし、今回のお話を聞いてそれでは成長できないということ学ぶことができ、些細なことでも相手に自分の意見を伝えるということが大切なのだと考えさせられました。今回の勉強会で阿部先生から教えていただいたことを、これからの自分の生活につなげていけたらと思います。
- ・ 今回は貴重なお話ありがとうございました。子どもの行動一つ一つを大事にすることが大切だとお聞きし、自分の今までの係わりは本当によかったのかなと思いました。働き始めて5ヶ月が経ちましたが、まだ自分のことに精一杯でお子さんの行動に目を向けられていないような気がします。どんな行動にもお子さんなりのサインがあると思いますので、その一つ一つに目を配りながらこれからお子さんと係わっていければと思います。ビデオを見させていただき、自閉症の青少年の様子が分からない状態で見たのですが、素敵な文章を作ったり絵を模倣したりとスムーズに行えていて驚きました。自閉症児の力のすごさを改めて実感しました。コミュニケーションの取り方にも様々な方法があり、年齢や月齢の低いお子さんとのコミュニケーションの取り方をもう一度見直していければと思います。
- ・ 人間の脳の仕事に関して理解するにはとても難しく、複雑で全てを把握出来ない。私たちが係わる児たちは言葉や行動として表出しない場合も多いが、その児の思いや要求を察知して療育するようにしたい。
阿部先生の「障害児と係わるという事は児とだけでなく、親・特に母親のサポートをし、元気づけることが大事」との言葉が一番心に残った。母子通園で働く私たちはこの言葉を忘れずに、いつでも話を聞く姿勢で親と接したいと思う。
余談だが、超未熟児に対するオランダの話が興味深かった。

- ・いつも心温まるお話をありがとうございます。コミュニケーションは発する言葉ではない。相手をさまざまな形で理解しようと思うことだと思いました。また、集団に属したいという欲求は、どんなに重い障害があったとしても、人間として大切にしなければならないということ、改めて勉強させて頂きました。たんぼぼホームはお母さんお子さん方にとって初めての集団生活の場所。互いの気持ちを尊重し、その欲求を穏やかに満たせるよう配慮していければと思いました。
- ・脳の話は難しいですが、感覚系と運動系に分けて分かりやすくお話して頂きました。結論として病名（障がい名）を気にしないでどこまで理解しているのか行動を見ることが必要という言葉が印象深かったです。普段の保育でも障がい名ではなく個性を見ていきながら苦手なところに手を添えたり不安を取りのぞいて自信につなげていきたいと感じました。子ども、保護者、保育士としての立場の前に相手の気持ちを汲み取りながら人間対人間としてふれあっていくことが大切だと思いました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・今日の先生の話は非常に興味深く、共感できるところがたくさんありました。とてもわかりやすい話であつという間の勉強会でした。脳のアドバイス、子どもの接し方を色々と学ぶことが出来てとてもためになりました。症状については本やHPを読んでいたのですが、今回の勉強会で先生の話聞きそれを再確認できたと思います。勉強会に参加して感じたことは、何を大切にするか、脳の問題、言葉の問題で困ったこと、不安に悩むことは多々ありますが、整理しながら頑張ります。

先生のお話を伺い、改めて「行動をよく見ること」の大切さが分かりました。東田直樹さんの本を読むと、表に表れている行動だけで判断しきれない様々なことを感じていることが分かります。通ってくるお子さんやお母さんと接する時にも同じように外に出ている行動や言葉だけでなく、その裏側や奥にあるものにも目を向けていかなければ…と思いました。そして、よく見る、よく感じる感性を磨いていきたいと思いました。

また、「コミュニケーションすると必ずすれ違う。だから、コミュニケーションするのだ」という先生の言葉を忘れずに、係わりあっていきたいと思います。

人の脳について勉強できてよかったです。

とくに集団欲という言葉を知り納得できました。障害があっても周りの理解や支えをもらい、障害も障害ではなくなる社会になるといいなと思っています。ありがとうございました。

「体は不自由でも心は自由」「病名にこだわらず行動を見ること」阿部先生の研修を受けるたび、療育者として心に留めておかなければいけない大切なことを教えて頂き、感謝しております。子どものことをよく見るのは当たり前のことで、私達は、さらにその心の動きをとらえられるように、児からどんな小さい発信でも受け止められるように、児からのどんな小さな発信でも受けとれるよう準備しておかなければならないと再確認しました。貴重なお話をありがとうございました。

「人の心は見えない、親子それぞれ集団所属の欲求がある」とのお話があり自分ではわかっているつもりで日々の療育の中で、子どもと接していましたが、改めて自分を振り返ってみるきっかけとなりました。ありがとうございました。

難しいテーマでしたが、いろいろなお話が折り込まれて、また、先生のお話も分かりやすく、楽しく聞き勉強することができました。ありがとうございました。

見せていただいたビデオの“なおきくん”の話すことを聞き、「自分も辛い」とか「気持ちをわかってほしい」というのが印象に残りました。自分の気持ちを表に出す表現が難しいというだけであり、行動のどこかに表れてくるのだし、自閉症・知的障害など一くくりにせず、その子その子の行動そのものを見てトラブルが起きているところを見つけて対応していくことは大事だと感じました。

その子の心を読み取り、気持ちに共感することと同時にその子を見ているお母さんの気持ちにも気付き、元気づけ良い関係を作ることも、私たちの大切な役割なのだと再確認もできました。ありがとうございました。

阿部先生のお話を聞いて、脳は単純ではないということを再確認しました。病名にこだわらず、行動を見てどこにダメージを受けているか見極めることが大事だとわかりました。

また、集団欲は厳しい本能的欲求だとありましたが、“人に好かれない”“愛されたい”という本能を満たすには自分の努力も大事で、集団欲は人との係わりでしか満たされないと聞き、子どもにとって初めての集団場面となる母子通園施設において、私たち職員の係わりがとても重要であることを改めて感じました。お話の中に、プロは親子に生きる勇気を与えるとありましたが、子どものことだけ見るのではなく、親を元気づけられるような療育者になっていきたいと思いました。

8月24日(火) 阿部先生研修感想

「ぼくのような子は、みんなの周りにいませんか?」「誰の役にも立たない」「僕たちのせいで、周りの人を不幸にしている」このような彼の言葉がとても、悲しく、寂しく思えます。そんな気持ちにさせたくない。心からそう思います。彼だけではなく、どんな人であっても、こんな気持ちを感じてほしくはありません。阿部先生の勉強会では、いつも、人として、職員として、自分自身を問うことが出来ます。そして、常に問題意識を持ち、それを解決していけるように日々生活していければと思います。今回も、ありがとうございました。

障がい名にとらわれず、子どもたち一人一人に寄り添いながら、子どもたちが自分の興味を十分楽しめるような環境作り、係わりを心掛けていけるよう、職員間で協力しながらやっていきたいと思いました。集団にいられず、興味を示さないように見えるなどの子どもたちの表面だけの行動を見るのではなく、本当にやりたいこと、思っていることは何かを探りながら、集団で心地よく、安心して過ごせるように援助していきたいと思います。

「病名にこだわらず、行動で見る」「集団所属の欲求：本能的欲求（これが満たされていないと生きていけない）（皆、皆と同じように「未来」がある）」など、特に印象に残りました。改めて、この仕事に対する姿勢を自分自身省みて、反省することばかりですが、通園児はじめ家族の笑顔を大事にしなが、細部にまで気を配り、職員みんなで取り組んでいきたいと思いました。先生の「スタッフはしっかり受け止めて、一人の人間として、親子が生きる勇気を与えてください!」の言葉が胸に染みました。

今回は東田直樹くんのビデオが印象的で考えさせられました。直樹くんの「ぼくはみんなのことを知りたい」「みんな、僕のことを理解して下さい」という言葉（気持ち）は、私たちが普段関わっている子どもたちも持っていると思いますが、どれだけ受け止めてあげられているだろうかと感じ、反省させられました。子どもたちが持つ音声にならない心の言葉に耳を傾け、受け止めていくことの大切さを感じました。

脳の働きを知るとともに、人間の脳のすごさを実感しました。集団所属の欲求というところで、「人に愛されたい」「人に好かれたい」との部分は、人とかかわり合うことで成立していくものだということ、また、そこが根本にあるから、私たちは、一人の人間としてしっかり受け止めていくことの大切さを教えられました。ビデオで見た直樹君の気持ちを知り、これから自分がどう関わっていくべきか、細やかな係わりや、一人一人の思いを言葉だけではなく、表情や動作などから、しっかりと理解していくことの大切さを改めて考えさせられました。

阿部先生研修会感想

西花苑たんぽぽルーム

- ・今回の勉強会では貴重なお話を聞くことができました。脳の構造や神経などのお話では、脳性まひの人は脳のどの部分にトラブルを抱えているかなどということが良くわかりました。一方で自閉症児のビデオをみると、脳の構造だけでは分からないようなこともあり、行動をみていくことが大切だと学びました。また、集団所属の欲求というお話では人と係わり合うことの大切さを学びました。
- ・東田直樹さんのビデオがとても印象的でした。先生のお話の中にありました、“集団所属を・・・”というものを、更に実感することができました。表面にうまく表出できない、でも「理解してもらえたら」という彼らの思いを受けとめられるよう・・・日々励んでいきたいと強く思いました。先生のテキストもよみながら、考えをふかめていきたいものです。貴重なお話をありがとうございました。
- ・脳の働きと心の動きのメカニズムについてのお話をお聞きして、自分の体の一部であるのに、何もわかろうとしていなかったと思いました。複雑に絡み合った脳のメカニズムを考えることで何一つ無駄な行動がないということを改めて感じました。
- ・お母さんが、今困っていることは何なのかを、日常の会話や表情から感じ取り、お母さんと一緒にどうしていけばいいのかを考えていくことで、お母さんが前向きに子育てができるように元気づけてあげること！を心していきたいと思いました。
- ・私達が日々接している子ども達の中には自分の気持ち（思い）などをうまく発信できないでいる、それでも「ボク（私）の気持ちをわかって・・・」と思っている子ども達の思いを感じ、受け止めていきたいと思いました。又、母達の思い（気持ち）もうまく表現できないでいる方もいると思いますので、家族支援への気くばりもしていきたいと思いました、ありがとうございました。
- ・先生の話をお聞きし、行動を構成する脳の働きがわかり、とても勉強になりました。また、療育していく中で、自分自身を謙虚にし、相手の心をわかろうとすることが、とても大切であるということがわかりました。私も子どもたちはもちろん、お母さん方に対しても謙虚にその気持ちを受け止め、サポートしていきたいと思います。また、学ぶことは問うことであるというお話をお聞きし、私ももっと様々なことを調べたり、探究し、問うことで、自分を高めていきたいと思いました。ご講話本当にありがとうございました。

ました。

- 子どもたちの様々な姿を捉え、考えるとき、基本とする体の仕組み、機能、役割を確認することの大切さ。保護者、子供たちと係る中でそれをどのように表現し伝えていくか、日々活動の中で職員は考えていかなければならない所だと確認しながら先生のお話を伺いました。これから仕事をする中で今回の研修内容を確認し、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。
- たんぽぽホームに通う時期が、とても大事なんだということが再確認できました。言葉がしゃべれなくても、何を言いたいのか組み取ってあげることが必要なんだなと感じました。